

固

四年

面数 8
筆順
オン
クン

「固」の成り立ち
「固」の成り立ち
「固」の成り立ち
「固」の成り立ち

かた 固
固 固
固 固
固 固



もちの形を表した「口」と、「古い」という意味を表した「古」とを組み合わせて作った字です。

「古くなったもち」は「かたい」ので、「かたい」という意味を表したものです。【例】堅固、強固。

「かたくて」しつかりしている」という意味に使われます。【例】確固、固持、固着。

「かたくな」という意味にも使われます。【例】頑固、固執。

「かたまる」「かためる」という意味にも使われます。【例】凝固。

また、「本来の」という意味にも使われます。【例】固有。

使い方

▽ぼくのおじいさんは、とても頑固です。確固とした意見を持っていて、それに固執します。

▽むかしの城は、敵に攻められないように、強固な備えがしてありました。堅固な城でなければ、人々は安心して暮らして行けないからです。

熟語例

▽堅固（固くて、しつかりしていること。「堅固な守り」などというふうには、つかいません。）

▽強固（強く、しつかりしていること。「あの人の意志は強固で、とても動かせない」などというふうには、つかいません。）

▽確固（しつかりしていること。「確固たる信念の持ち主」などというふうには、つかいません。）

▽固持（しつかりと持ちつづけること。）

▽固着（しつかりと着くこと。）

▽頑固（かたくなで、意地を張ること。）

▽凝固（自分の意見などを、かたくなに主張すること。）

▽固有（かたまること。「氷は、水が凝固したものです」などというふうには、つかいません。）

功

四年

面数 5
筆順
オン
クン

「功」の成り立ち
「功」の成り立ち
「功」の成り立ち
「功」の成り立ち



「努力する」という意味の「力（年79）」と、「工作」という意味の「工（年128）」とを組み合わせて作った字です。「努力して工作にはげみ、りっぱに作り上げること」を表した字です。「りっぱな」で「ばえ」で「がら」「いさお」という意味の字です。【例】成功、功績。

また、「大きな働き」という意味から、たんなる「働き」の意味にも使われます。【例】功徳、年功。

ふつうは漢音でコウと読みますが、むかしから呉音でクと読むならわしのあることばはクと読みます。

「功徳」は、「大きな働きのある徳」という意味のことばで、「神仏のめぐみ」のことを言います。また、それは「よい行いのむくい」なので、「よい行い」という意味にも使われます。

使い方

▽功成り名遂げた人も、最初から成功者だったわけではありません。何回も失敗を重ね、努力して、成功したのです。

▽「陰徳あれば、陽報あり」ということわざがあります。人知れず功徳を積んでいる人には、きっと、よいむくみがあります。

熟語例

▽成功（りっぱにやりとげること。とくに、富や地位を得ることをいいます。）

▽功績（てがら。いさお。「会社をここまで築きあげるのに功績があった人を表彰する」などというふうには、つかいません。）

▽功徳（神仏のめぐみ。また、神仏のめぐみを受けられるような、良い行い。また、その良い行いのむくい。「あの人が、今のよう幸せな生活ができるのも、神仏の功徳に違いない」などというふうには、つかいません。）

▽年功（年来的働き。その働きによる経験。「年功を積んで、やっと今の地位を得た」などというふうには、つかいません。）